

## 1 出穂期予想と出穂後の水管理

### ◆ 出穂期予測（7月19日幼穂調査、庄内普及課）

- ・「はえぬき」「雪若丸」では平年並、「つや姫」では3日程度早まる見込みです。ただし出穂期は圃場・地域によって前後しますので、圃場の状況を確認しましょう。

幼穂による出穂予想(7月19日、庄内普及課：作況圃調査結果)

地域	品種	予想出穂期	平年出穂期	平年差
矢馳	はえぬき	8月3～5日	8月4日	±1
上清水	つや姫	8月7日	8月10日	-3
下小中	雪若丸	8月4日	8月3日	+1
余目新田	はえぬき(鉄コ)	8月14～15日	8月13日	+2

### ◆ 出穂期以降の水管理

- ・出穂期は、稲が最も水を必要とする時期です。出穂が始まったら1週間程度は水深2～5cmに湛水しましょう。その後は、間断かん水（2日湛水、2～3日落水を繰り返す）で稲体の活力を維持し、出穂後30日間は落水しないようにして、登熟を高めましょう。

### ◆ 台風接近時の注意点

- ・フェーン現象や強風による白穂の発生や登熟不良で減収することがあります。天気予報や台風情報をチェックし、事前に湛水して稲体を保護しましょう。

## 2 斑点米カメムシ類に注意！！

### ◆ 斑点米カメムシ類対策

- ・斑点米カメムシ類の発生は平年よりやや多く、7月11日に注意報が発表されました。被害を防ぐため、畦畔等の草刈りを確実に行いましょう。
- ・もうすぐ草刈り休止期間となります。休止期間中の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田に追い込み、斑点米の発生を助長することになります。地域ごとの草刈り休止期間を確認し、休止期間になる前に草刈りを終えるようにしましょう。
- ・斑点米カメムシ類防除は「①穂揃期」と「②穂揃期の7～10日後」の2回防除が基本です。地域の防除計画に従い、防除を徹底しましょう。

農薬の散布により、「みつばち」に被害が及ぶ可能性があります。近隣のみつばち飼育の有無を必ず確認し、「みつばち」飼育者に農薬散布の情報を提供する等、連携を密にし、被害を防止しましょう。



熱中症予防強化月間 ～ こまめに水分と休憩を取りましょう ～